

共 架 工 事 基 準（大型街路灯）

1 適用範囲

この共架工事基準（大型街路灯）は、中部電力パワーグリッド株式会社（以下、「当社」といいます。）の電柱に、当社所定の共架契約約款の定めに従うことを確約した共架者が所有する大型街路灯を共架する場合の工事に適用するものとします。

2 関係法令の遵守

共架者は、共架工事の実施にあたり、この工事基準のほか電気設備に関する技術基準を定める省令、電気設備の技術基準の解釈（以下、「電技解釈」といいます。）およびその他の関係法令を遵守するものとします。

3 共架物件

（1）共架物件の種類

共架物件は、大型街路灯およびその付属機器とします。

（2）共架物件の設置数

4（離隔距離）、5（昇柱空間の確保）および6（共架物件の施設方法）の規定を満足する場合、原則として共架電柱1本あたりに共架できる共架物件は1基とします。ただし、当社の事業に支障をきたさず、当社の承認を得たときは、この限りではありません。

4 離隔距離

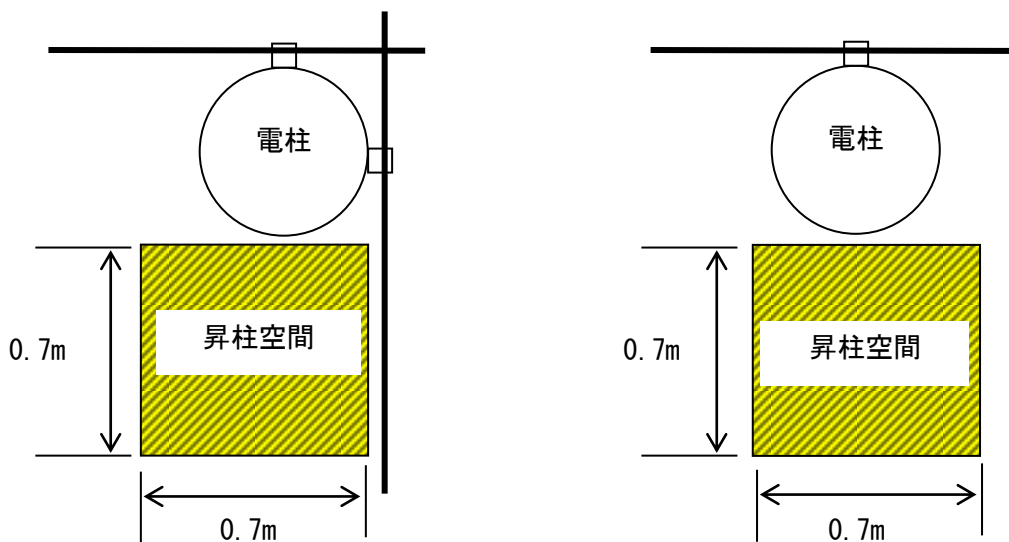
共架者は、共架者が施設する共架物件と、当社所有の特別高圧配電線、高圧線、低圧線、変圧器および通信線に対して、次の離隔距離を確保するものとします。

当社所有の設備		当社所有の設備が施設された共架電柱の取付点
特別高圧配電線		2．0 m以上
高圧線	絶縁電線	1．0 m以上
	ケーブル	0．5 m以上
低圧線	絶縁電線	0．6 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0．3 m以上
低 圧 引込線	絶縁電線	0．3 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0．15 m以上
	特別高圧絶縁電線	
変圧器底部		0．6 m以上
通信線		0．3 m以上

（注1）本表は、共架者の承諾を得た場合の離隔距離を示す。

5 昇柱空間の確保

共架者は、共架物件の施設において、底辺を一边0.7mの正方形とし、共架電柱に沿って地表面から共架者の最上位の共架位置までの直方体の昇柱空間（図1参照）を確保するものとします。



〔図1〕

6 共架物件の施設方法

共架電柱における共架物件の施設方法は、次によるものとします。

- ① 共架物件は、以下の共架電柱には施設できないものとする。
 - ・ ケーブル立ち上がり柱
 - ・ SVR等の電圧調整器柱
 - ・ その他当社の指示する柱
- ② 共架物件は、4（離隔距離）および5（昇柱空間の確保）を満足し、かつ他の共架設備および電柱広告等に支障を及ぼさない位置に施設する。
- ③ 共架物件は、道路法等で規定される最低地上高以上、5.2m以下の地上高に施設する。
- ④ 共架物件の工事施工においては、材料、工具類の落下防止措置を確実に実施する。
- ⑤ 共架物件への電源供給は、屋内電気設備からの引き出しはせず、商用電源からの供給とする。

7 接地工事

共架者の接地線と当社の接地線とは共用しないこととします。

8 標 識

共架者は、大型街路灯に、共架者の名称またはマークの入った識別可能な標識を取り付けるものとします。なお、当該標識は、十分な視認性と耐候性を有するものとします。

9 安全確保

共架者は、当社所有の足場ボルトの機能を妨げないように、足場ボルトと共架者所有の共架物件との垂直距離15cm以上を確保して施設するものとします。

共架者は、共架工事の施工にあたって、公衆保安を確保するとともに、当社の設備および他の通信設備等に損傷を与えないこととします。

以 上